

# Orkney GIS DataNetwork 接続手順 (MapInfo Professional 8.5)

2009年6月 株式会社オークニー

## Orkney GIS DataNetwork とは

Orkney GIS DataNetwork は、クライアント GIS ソフト向け地図データ画像の配信サービスです。

- ◆ OGC (Open Geospatial Consortium) が策定した WMS (Web Map Service) に準拠
- ◆ インターネットへのアクセスさえ可能であれば利用可能  
(クライアントマシンへの大容量の背景地図データのインストールは不要です。)
- ◆ 「MapFan」で定評のあるインクリメント P 社の高品質な日本全国の地図データ
- ◆ 利用料金は年間5万円(月あたり2万アクセスが上限となります)

## Orkney GIS DataNetwork 接続手順

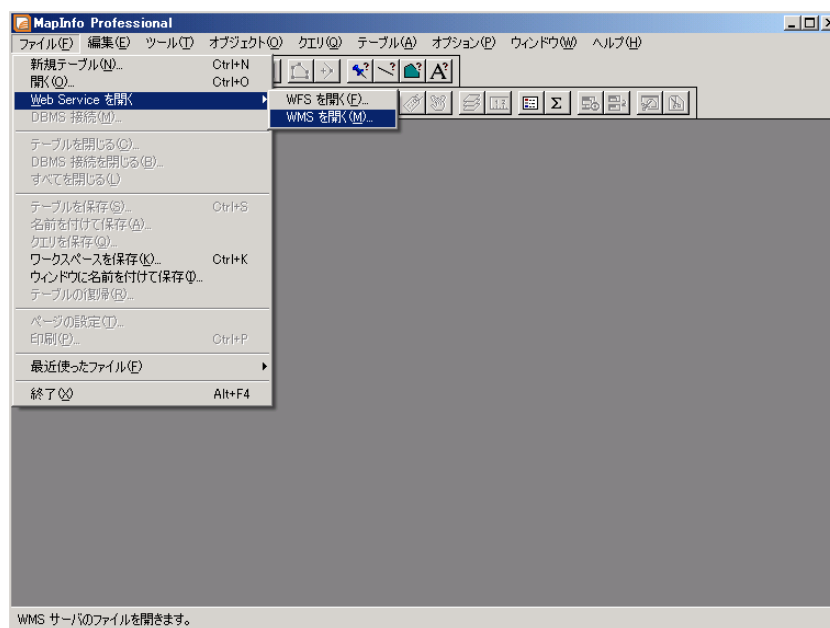
次の手順により、Orkney GIS DataNetwork へのアクセス準備を行います。

1. ユーザーID およびパスワードの発行
2. ユーザーID によるログイン

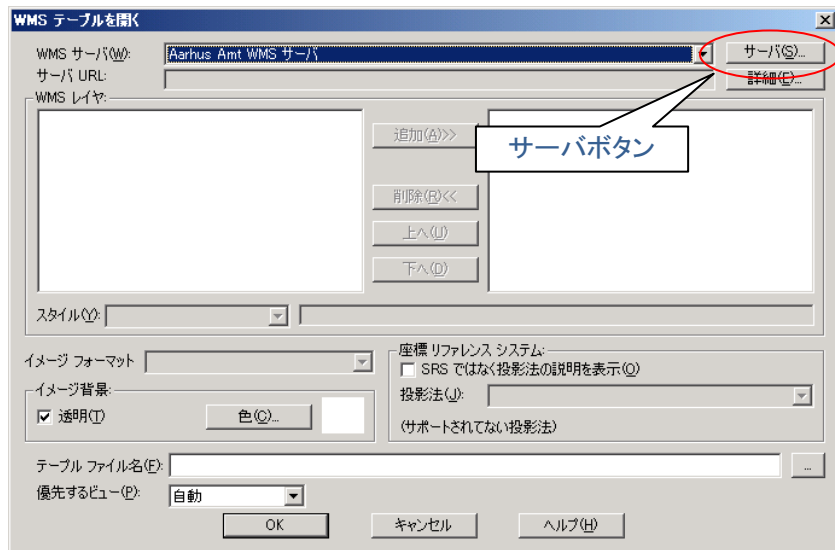
## クライアント GIS ソフト側の接続手順 (MapInfo Professional 8.5 の場合)

上記手順が完了したら、WMS アクセス URL をクライアント GIS ソフト (MapInfo Professional 8.5) に設定して、WMS サーバを参照し、必要なレイヤを開き、地図を表示します。

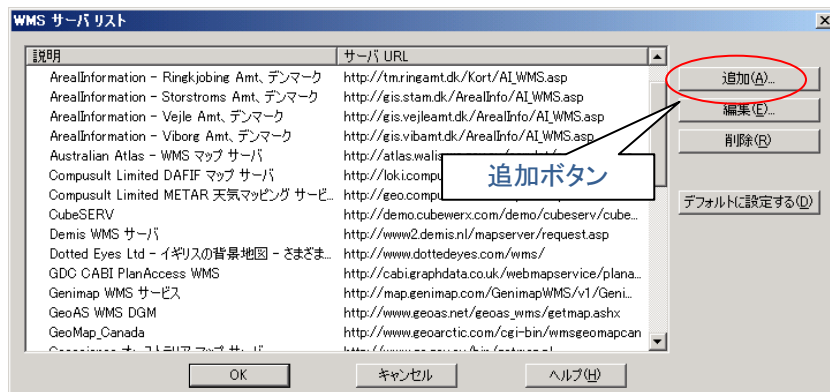
1. MapInfo Professional 8.5 を起動し、[ファイル(F) → Web Service を開く → WMS を開く(M)] をクリックします。



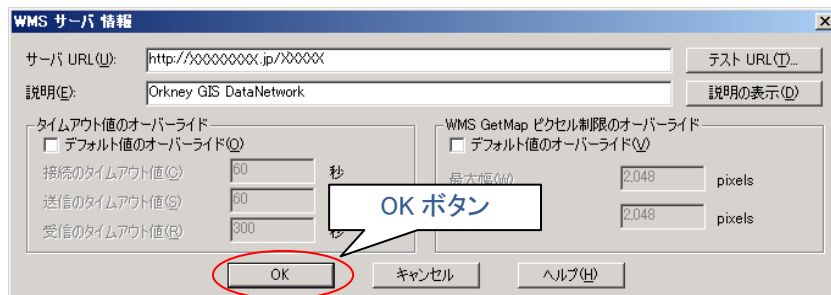
2. 「WMS テーブルを開く」ダイアログが表示されたら、[サーバ]ボタンをクリックします。



3. 「WMS サーバリスト」ダイアログが表示されたら、[追加]ボタンをクリックします。

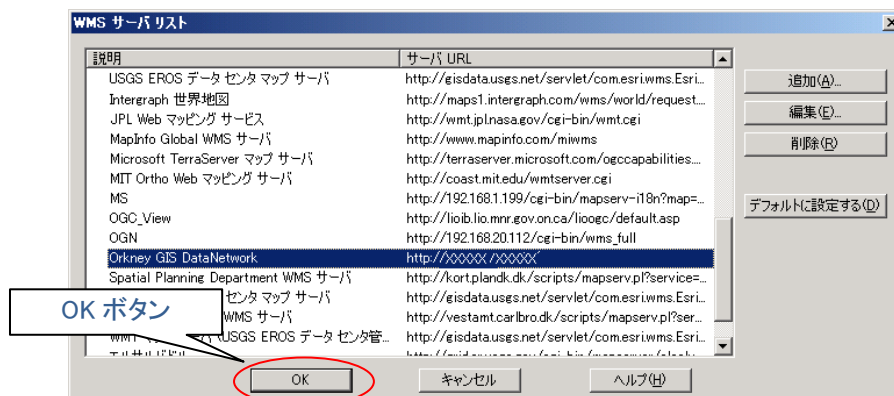


4. 「WMS サーバ情報」ダイアログが表示されたら「サーバ URL (U)」に WMS アクセス URL と、説明(E) に任意の名称を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

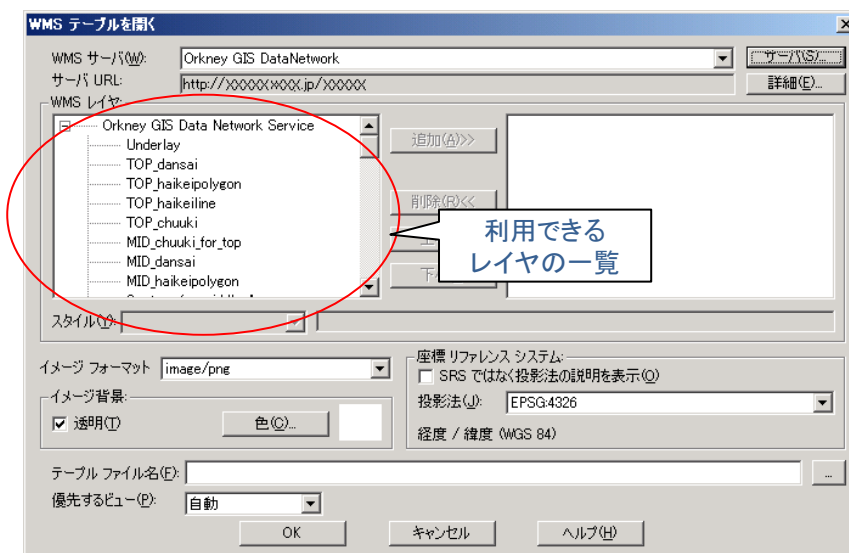


※「タイムアウト値のオーバーライド」→「デフォルト値のオーバーライド(O)」設定と、「WMS GetMap ピクセル制限のオーバーライド」→「デフォルト値のオーバーライド(V)」についての詳細は MapInfo Professional のユーザーズガイドをご覧ください。

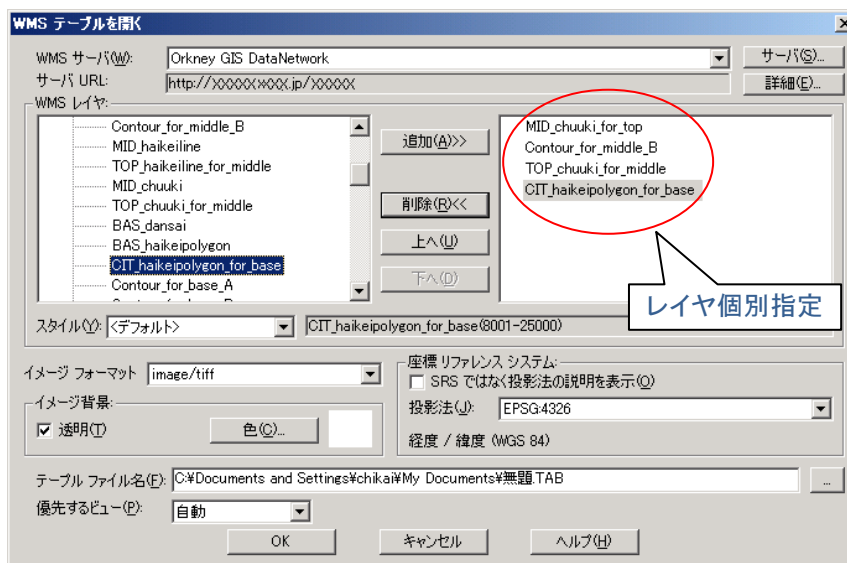
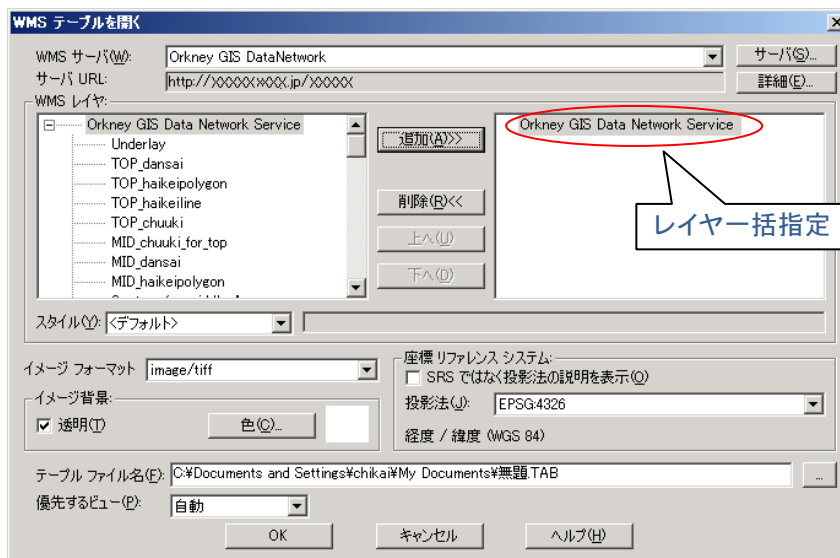
5. 「WMS サーバリスト」ダイアログに戻ったら、「OK」ボタンをクリックします。



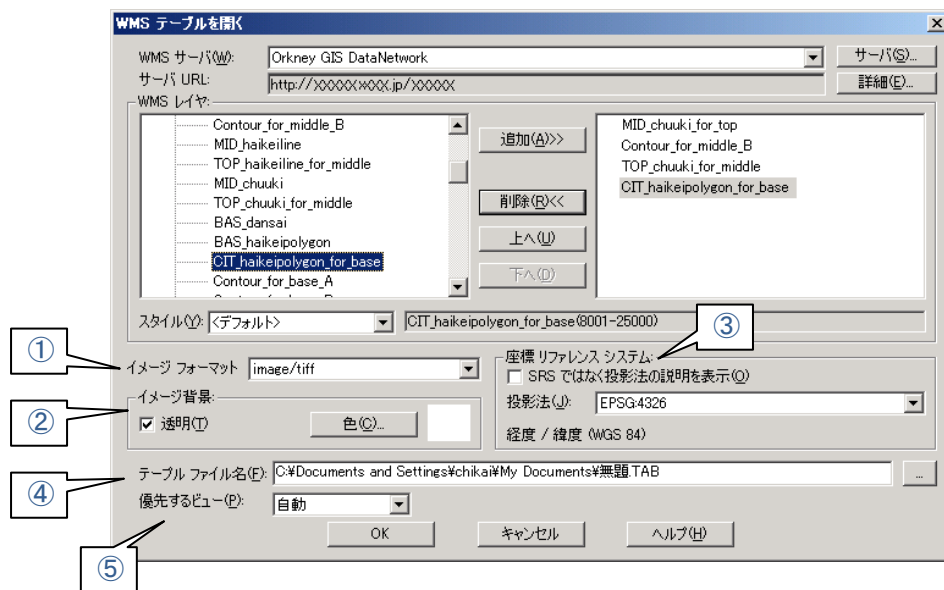
6. 「WMS テーブルを開く」ダイアログが再び表示されると、Orkney GIS DataNetwork に接続され、「WMS レイヤ」に利用できるレイヤの一覧が表示されています。



7. 「WMS レイヤ」から利用したいレイヤを選択して表示が可能ですが、レイヤー一覧の最上部にある「Orkney GIS DataNetwork Service」を選択して頂ければ、利用可能なすべてのレイヤを一括選択した状態になりますので通常はこれを選択してください。また、個別のレイヤを選択してご利用になりたい場合は別紙「Orkney GIS DataNetwork レイヤ仕様書」を参考にレイヤの選択を行ってください。



8. レイヤの選択が終わりましたら、同じく「WMS テーブルを開く」ダイアログで下記の指定を行います。



①「イメージフォーマット」欄で表示させたい地図画像のフォーマットを選択します。

②「イメージ背景」欄で背景を透過するかどうかの指定、または背景色を選択します。

③「座標リファレンスシステム」欄で投影法(J)を指定してください。一覧にはサービスで利用できる投影法の一覧がデフォルトは EPSG で表示されますが、EPSG が解り難い場合は、「SRS ではなく投影法の説明を表示(O)」を選択して頂ければ選択しやすいと思います。

<Tips>

Orkney GIS DataNetwork では、以下の投影法で表示することができます。

・緯度／経度

日本測地系2000: JGD2000 (EPSG:4612)

日本測地系: Tokyo (EPSG:4301)

世界測地系: WGS84 (EPSG:4326)

・メルカトル図法

WGS 84 / World Mercator (EPSG:3395)

World Mercator (ESRI:54004)

Google maps (EPSG:900913)

・平面直角座標

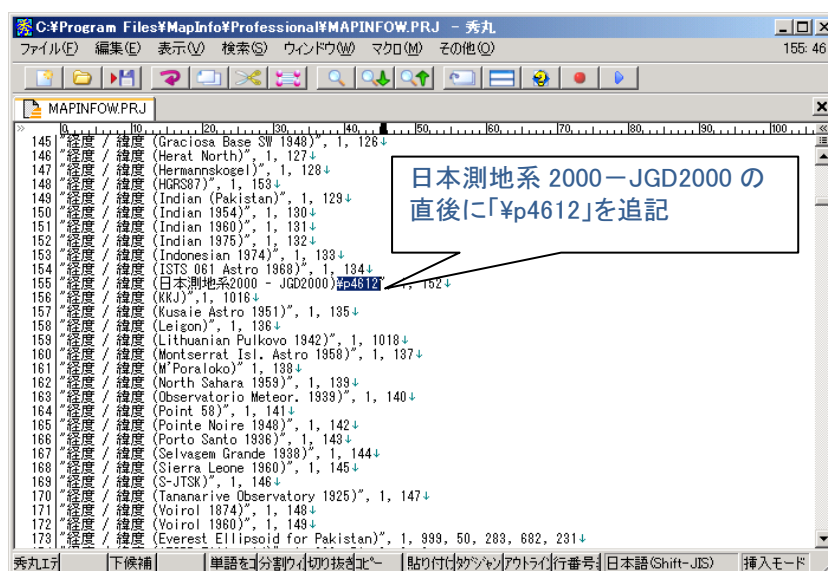
世界測地系平面直角座標 19 系 (EPSG:2443~2461)

日本測地系平面直角座標 19 系 (EPSG:30161~30179)

## <Tips>

投影法を選択した場合に「投影法(J)」の下の場所に(サポートされていない投影法)と表示される場合があります。この場合は、MapInfo Professionalの投影法を設定しているファイル(MAPINFOW.PRJ)をエディタなどで開き、以下のように編集、もしくは記述を追加する必要があります。

本ファイルは、標準のインストールであれば、MapInfo Professionalの実行ファイルと同一のフォルダ内(初期設定どおりであればC:\Program Files\MapInfo\Professional)にインストールされています。



④「テーブル ファイル名(F)」で任意の場所・名前を選択して MapInfo の TAB ファイルを作成します。

⑤「優先するビュー(P)」でどのように WMS レイヤを追加するか指定します。

※詳細は MapInfo Professional のユーザーズガイドをご覧ください。

9. 各種指定が終わりましたら[OK]ボタンをクリックしてください。WMSサーバに対するリクエストが実行され、WMS経由の地図データが指定の画像形式で表示されます。



10. 通常のレイヤと同様に拡大・縮小・移動などの地図操作が可能です。また、表示されている地図データ自体は、指定の画像形式のWMSレイヤとして扱われているので、「レイヤ管理」→「表示」から、画像の透過を設定することも可能です。

